会 報



2020~2021 RI第2720地区

人吉ロータリークラブ



通 算 3 0 8 4 回 2021年5月21日第 2 4 回 例 会

ロータリーは機会の扉を開く

2020 2021年度 R / 会長 ホルガー・クナーク

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎四2171

例会場

事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎ № 6665 ☎ № 6505



人吉ロータリークラブ ホームページ



☆フェイスブックページ

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2020~2021年度 人吉ロータリークラブテーマ この仕合せ(めぐり合わせ、運命) に感謝し、より豊かな人生の扉を拓こう」

本日の進行

点鐘 会務報告

国歌斉唱 ロータリーの友紹介

ロータリーソング斉唱 ベテラン会員卓話®

会長の時間 ベテラン会員卓話①

幹事報告 点鐘

出席率報告

ZOOM例会

人吉球磨自動車会館より配信

点 鐘 葉山稔洋 会長

哥大 『昌 パング・リーダー 平田フク委員長

国 歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」

司会 · 進行

プログラム 竹長一幸委員長

会長の時間

会長 葉山稔洋

皆さんこんにちは、先週は蔓延防止の為、Z00M例会を 実施させて頂きましたところ会場に10名弱とリモートで 25,6名の参加があったとお聞きしております。ご清 聴、ご参加有難うございました。

私の会長の時間と北幹事の幹事報告も職業奉仕と会葬の為リモートで行いましたが、如何だったでしょうか? 声が聞き取りにくいとの指摘を受け、(勝手に委員会を作ってしまいましたが)一昨日は水野ZOOM担当委員長に新たな機材を購入頂きテストしてみました。中川先輩ご協力ありがとうございました。

今日は如何でしょうか?浦田さん、中島さんよく聞こえますか?

ところで弊社には、点鐘に変わる音の出る物は、沢山 あるのですがちょっと不謹慎かなと思い水野副会長に点 鐘を御願いしましたら、どんな物と聞かれたので皆さん にも見て頂こうかと持って来ました。これは岩手県の名 産 南部鉄で作られた物で、現地で調達しました。こちらは「たまゆら」と言って現代ものです。両方ともにいい音を奏でます。音も響きもなかなかなものでしょう。

ところで例年より2週間以上早い梅雨入りとなり、昨日は、嫌な1年前を思い出させるような雨音と携帯の緊急アラームが鳴り続けました。昨年決壊した 我が家の目の前の堤防には土嚢は積んであるものの堤防との間は、5~6センチ空いており堤防道路の高さ以上に水位が上がるのかと思うと心配で眠れませんでした。

そんな中視川ガバナーからは、水害の時の写真 やどのような奉仕活動をしたか等 資料を頂きた いと連絡がありました。データを整理 精査し送 りたいと思います。さらに昨年一緒に後藤会員の 千寿園の作業に行った肥後大津RCから連絡が 有、26日の小田原北RCの例会にリモートで参加 依頼がありました。小田原北からは冷凍庫を2台 頂いております。いずれにしてもあまり思い出し たくはない出来事ですが、お世話になった以上は お応えしていかなければと思います。出来ました ら何名か参加して頂く有難いです。 これで会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 北 昌二郎

≪連絡事項≫

- ○地区より
- オンライン視聴の案内 日本のロータリー100周年を祝う会は緊急事態宣 言延長のため無観客で開催、その様子をYouTube 配信 5/25(火)13時~16時30分
- ・6/6地区RA家族清掃活動は中止します
- ○例会取止め

熊本東南RC 5/26 取止め

熊本南RC 5/24及び5/31例会休会

○当クラブ

5/28 Z O O M 例会

出席率報告

委員 伊久美早利

出席免除会員数 3名	51名	数	員	会	現
本日の出席率	48名	員数	务会員	席義和	出月
71.43%	14名	数	者	席	欠
	34名	数	者	席	出
ZOOM(21名) 会場(14)名	1名		員出周	除会員	免隊

*届け出欠席 青木・後藤・堀川・岩井・岩下・加登住・川越 松山・戸高・冨永・友永・外山・漆野・渡辺

*出席免除会員 (b) 愛甲 増田 本田

*メークップ期間は年度内(7/1~6/30 迄)になります。

【雑誌委員会】

ロータリーの友5月号の紹介

委員長 尾上暢浩

横組みから紹介します。

- ①P3 RI会長メッセージ
- ②P7から5月青少年奉仕月間の特集が組まれています。

"あなたのエールで輝く若人"

P12 大分県出身R財団グローバル補助金奨学生としてイギリス・ウイントミンスター大学院で国際公衆栄養学を学んだ川合菜月さんの記事です。現在は国際医療NGO・ジャパンハートカンボジア運営の小児病棟で栄養管理部マネージャーをなさっています。食事が与える幸福の力、世界共通の幸せを実現するべく活動の様子が紹介されています。

③ P 2 4 "視点 ガバナーのロータリー・モメント" では2720地区硯川昭一ガバナーが載っています。 ぜひお読みください。

縦組みです。

- ④P16 友愛の広場 私が前回紹介した"会員のお孫さんがドラフト1位指名"に続くタイガースファン会員さんから応援のメッセージです。
- ⑤ P 1 8 友愛の広場 "クラブソングをご披露"では、マイクラブソングがあるなんて魅力的なクラブだと思いました。以上です。

【プログラム委員会】

ベテラン会員卓話(8)

永尾 禎規 会員 (R歴18年)



ロータリー歴18年と1ヵ月職業分類は漬物製造販売業です。前職は陸上自衛隊の自衛官でした。現在も予備自衛官に登録し年2回の部隊での訓練に参加しています。

私が人吉ロータリークラブに入会 したのは平成15年4月18日平井年度

の時でした。平井会長はスーパーを営まれており私の会社の大きな取引先の1つでした。ある日、今すぐ事務所に来てくれと社長から言われまして行ってみますと用紙とペンが用意され、私にロータリークラブにぜひ入会してほしいとの事でした。当時の平

井商店は会長の名前を店名に掲げた「ゆたかセンター」を前身とするスーパーで「ゆたかセンター蓬莱店」と「食鮮館オリーブ」の2店舗を保有する地元でも大きなスーパーの1つでしたのでやむなく入会届にサインをしました。

ロータリーについてたずねると、毎週金曜日の12 時半からあゆ里で行っている例会に参加してください、と言われ入会することになり現在に至っています。ロータリーの事は未だわからず、在籍しているだけで皆様のお役に立っていませんので、今日は昨年7月の豪雨の際の我が家での状況を私の父を助けられなかったことも含めてお話しさせて頂きたいと思います。

7月4日朝、強い雨音と防災無線の声で目が覚めました。前日はロータリーの懇親会で久しぶりにおいしいご馳走とおいしいお酒をいただき、皆様と楽しい時間を過ごしましたので、ゆっくり休んでおり何か警報が出たのかな、くらいの感覚でした。

出勤のため7時に外へ出ましたら6、70メーター 先の上村うなぎ屋さんの所まで水が来ているのが見 えました。これは大変だ、床上まで水が来るかもし れないと思い、急いで両親にその様子を話しまし た。我が家は相良藩時代の町家づくりで、間口2間 半、奥行き30間の細長い構造ですので袋小路で逃げ 場がありません。再度外へ出ると水はもう家の5・6 メーター先まで迫ってきています。両親に「早く逃 げよう」と言って、作業ズボンと雨カッパを着てい と思い、両親に「もう逃げろ、危ない」と急がせ なと思い、両親に「もう逃げろ、たない」と急がせ ました。母は理解して準備を始めましたが、父がな かなか動かず言うことを聞いてくれません。

父は平成25年に大腿骨骨折をしたあと認知症の症状が出ており、介護2ではありましたがまだまだ元気で、杖をついて歩き食事の準備をすれば自分で食べます。来客があれば挨拶し話もちゃんとできました。デイケアにも行っていましたが一緒に暮らしているとやはり認知症の症状とわかります。

そんな父がその時ばかりは体が動かず言うことを 聞いてくれませんでした。意を決し先に母を背負 い、裏のある里家に母を避難させました。すぐに戻 り父を背負おうとしましたが動きません。里家の母 のことも心配で往復するうちに水の回りが早くな り、母を背負って屋上の物干し場へ上げました。父 のところへ戻り手を引き動かそうとしましたが動い てくれません。そのうち「もうよか、もうよか」と 言い出しました。この家を自分1人で守ろうとした のかもしれません。父は9人兄弟の長男でしたの責 任を感じたのかもしれません。水はどんどん上がっ てきます。「そこの飯台の上に上がっときない」と 言って外へ助けを呼びに行き、母を確認した後、ま た外へ出ようとしましたが、トタンの塀で囲まれて いるため逃げ場がありません。私はそこにあった造 林鎌を持ち、刀で切る要領で右、左と袈裟切りに し、下からも切り上げトタンの塀を切り破り通り抜 けました。

鍛冶屋町へ助けを求めて走りましたが皆逃げる準備をしている様子です。我が家の真裏の釜田醸造所のところで釜田君に会い、「父を置いてきたので」と言うとバールを貸してくれました。そのバールで

塀をこじ開け、中に入ると釜田君が脚立を持ってたってくれたので屋根にかけてよじ登り、屋根をつて来で先ほどの屋上へ着きました。釜田君もいとと巻田君を上へがあたると巻田君をいました。接上へ行くはたってをはないました。持さをこれました。持ちではないない。まないないではないない。まないないではないない。ないではないないではないないではないないであるというではないない。と思いたが、水が屋上ではないない。と思いたが、と思いたはいてきなんといい」と思いた。で来でははいてきはした。で来であるといか問題というというというというというというによいであるというによいであるというによいであるというによいてきないがいまないがあるというによいない。というというというによいないるというによいない。というというによいないるというによいないるというによいないるというによいない。

周りの家が水にのまれ、軒上まで来ています。 屋根の上だけが島のように見えます。まるで海の岩 場に取り残されたようになりました。「四面楚歌」 とはこういうことかと思いました。見えない敵と 戦っていて水攻めに遭っているような気分でした。 この時私は「父はもうダメかもしれない」と思いま した。しかし、今は母を助けなければいけません。 もし水が屋上まで来たら・・私は泳いで逃げること ができても、母はどうやって運べばよいだろうか、 とずっと考えていました。

そうしているうちにヘリコプターが低空飛行したので大きく手を振りました。別の場所から声が聞こえたので「おーい、おーい」と声をあげました。すると、消防のボートが来てくれました。午前9時~9時半位だったと思います。ボートに乗ってくださいと言われましたが、父を置いてきたことを伝えると「助かる可能性のある人から先に助けます、後からすぐ来ます」と行ってしまいました。

それからずいぶん待ちました。その間携帯にどん どん電話が来ます。約2時間半後に消防のボードが 来ました。昼前です。屋上に接岸し、私と母を乗せ てくれました。他の人もいます。どこに行くのかな と思ったら、大進ビルの2階か3階に連れて行かれ た後、ボートはそのまま去っていきました。町内の 人たちが十数名いました。朝から何も食べていませ ん。食事のないまま4時過ぎまでいました。4メー ター位あった水が3時位から引き始めました。

4時半ごろ1人で家の様子を見に行きました。水は膝上まであったので途中で竹の棒を拾って杖がわりに歩いていきました。家の中は変わり果て、家財道具が散らばり足の踏み場もありません。畳は泳いだように浮き上がり泥水がヘドロのようでした。天井上まで水跡がありました。大進ビルへ戻り母を背負い五十鈴橋まで歩き、迎えに来てくれた叔父の車に母を乗せました。再び父を探しに家へ戻り、

「おーい」と声をかけましたが反応がありません。 消防団の人を探し、一緒に探してくださいと頼みま した。私と団員3人で探していると、消防団の方が 「あ、おられました」「どこですか」「ここです」 私は父の姿を確認しました。父の変わり果てた最後 でした。

私は父を助けることができませんでした。自分の 力不足を感じました。どうして助けることができな かったんだろうと言う自責の念と助けてあげられな くてごめんと言う無念の思いと、助ける最善の方法 はなかったのかと言う思いが頭の中に混在しまし た。それは今でも同じです。私の不徳の致す限りで す。でもこれが現実なのです。受け入れるしかあり ません。消防署員を呼び死亡確認してもらい、警察 に連絡してもらいました。いつまでたっても来ない ので通りがかりの警察官に説明したら、刑事を呼び ますとの事でした。その間も事情を何回も聞かれま す。刑事が来てから事情聴取が始まりました。写真 を撮った後、父は遺体安置所に運ばれていきまし た。その日は親戚の叔父の家に母とお世話になりま した。

まずは何をどこからどう始めようか、どう片付けようか、何から先にしようか頭の中がいっぱいです。翌々日、葉山会長のところに相談に行きました。会長には大変お世話になりました。一緒に安置所に行ってくださり、警察署にも行っていただきました。火葬場がいっぱいの中、火葬の手配もお願いいたしました。

7月8日に火葬することができました。その間ロータリーの皆様方、関係方々に大変お世話になりました。被災してから父方の叔父の家にお世話になり、次は母方の私のいとこの家にお世話になり、7月半ばから後半にアパートへ移り、みなし仮設の手続きを取り、そこに住みながら自宅の復興にあたりました。ロータリーの皆様にはもちろん、色々な方々の助けをいただき励ましのお言葉やお見舞いもいただきました。自宅の復旧作業にもロータリーの皆様やローターアクトの諸君、自衛隊OBであるで大会や予備自衛官各個人の方々、各種ボランティアの方々にも大変お世話になりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

現在は、3月に城内の仮設住宅に引っ越しましたので、そこで生活をしています。幸い相良村の本社工場は被害を免れ何とか営業しています。昭和50余年に本社工場を移転してくれた父に感謝です。

これからは普段の仕事と作業を通じて地元人吉球磨の復興のお役に立てるようがんばります。

余談ですが、水害の緊急時に私の若い時の自衛官 時代の経験が大いに役に立ったような気がいたしま す。自衛官時代の経験と水害で被災した経験が今後 皆様のお役に立つことがあれば協力してまいりたい と思います。ご清聴ありがとうございました。

ベテラン会員卓話⑰

有村 隆徳 会員 (R歴38年)



皆さん、こんにちは。 久しぶりに壇上に上がります と、若干緊張いたしております。 また、私は喉頭がんの後遺症で声 があまり出ませんので、お聞き苦 しいかと思いますが、よろしくお

願いいたします。

まず、私の職業を選んだきっかけについてお話しいたします。私の職業は旅館業です。この会社は私

の両親が創業した会社で、私は二代目でございます。私が高校生の時に、姉が結婚いたしました。 姉の伴侶は当クラブでも長年お世話になりました故 増田力会員で、小児科のお医者さんでした。私は姉 と2人兄弟と言うこともあり、その頃この旅館業を 継ぐように父から言われました。当時、立教大学の 2人の先輩(永田製材所の永田さん、中津留物産の中 津留さん)から、どうせ旅館業を継ぐのであれば立教 大学の観光学科があるので立教大学においでと熱心 に勧められました。当時全国でも観光学科のある大 学は立教大学だけでしたので受験をし、入学いたし ました。

大学卒業後、熱海の金城館と言う旅館に数年間勤務いたしました。当時金城館は、熱海温泉の中でも大型旅館で日本一の客室稼働率旅館、しかも高品質、高料金の旅館で全国的に有名でございました。

ちょうど東京オリンピックの開催された頃でしたが、私は1日中14時間の勤務時間でございまして、オリンピックのテレビもラジオも聞くことが出来ませんでした。大変きつかったですけれども、楽しい数年でございました。その後、人吉に帰ってきて、(有)鮎里旅館に入社しました。

次に、旅館の自慢話(PR)についてお話しします。 お客様から好評をいただいているのは、客室からの 展望です。8階、9階の客室からの展望は、球磨川 の水面から地上14階位の高さからの眺めになりま す。球磨川を眼下に見下ろし、対岸に人吉城址の石 垣と緑色の樹木の森が見え、遠くには九州山脈の山 並と緑の樹木が見えます。また下流は、球磨川が蛇 行していまして、素晴らしい眺望になっておりま す。。

次に、私どもの竹林に囲まれたエントランスから 1階のロビーラウンジ、ライブラリーサロンについ ては、空間が広くゆとりがあり、木のぬくもりが あって、素晴らしいと好評を得ています。

また、当ホテルは花を生ける専属の従業員を雇用しています。彼女が毎日生ける自然の山野草は大変好評です。また、地下1階のワインセラー、焼酎蔵は焼酎の試飲コーナーもあり大変喜ばれております。また、大浴場での生ビールのサービスも好評でした。

次に、私どもの旅館は五つ星の宿として認定を受けております。この五つ星を着き言うのは、ヨーツパのミシュランの五つ星を参考にして、観光音新聞社が主催をし、毎年行っているものです。銀光庁、日本旅館協会、全国旅行業協会、日本観光庁、日本旅館協会、全国旅行業協会、日本統行、近畿日本ツーリスト、阪急交通社など大手9社、JALを始めとした航空会社、JR各社、全国のバス会良いの旅行業社によるアンケート調査で評判のもとした航空会社、JR各社、全国のバス会良い旅館を全国から上位250軒を選出して認定する制度です。毎年認定が行われて、東京で表彰式の星のでます。特に、5年以上認定された旅館を五つ星のでます。特に、5年以上認定された旅館を五つ星のではります。特に、5年以上認定された旅館を五つ星の旅館が認定されています。全国で約3万軒の旅館のうち250軒に入っております。

次に、旅館の問題点と将来性についてお話しいた します。旅館の商品といえば客室でございまして、 この客室にお客様をお泊めし、料金をいただくわけ ですが、今日売れ残った客室は永久に売れないわけでございます。例えば、物品販売では昨日今日売れなかった商品は明日、2倍3倍と売ることができます。また今月売れなかった商品は来月数倍にして売ることができます。

旅館は満室になりますと、それ以上にその日は売ることができません。しかも私どもの旅館は、大多数が1泊のお客様でございます。ハワイのホテルを見ますと、日本のお客様は大体4連泊、欧米のお客様は7から10日の連泊、同じ客室にお泊まりになります。4日間、7日間満室にしますと、1年間満室になるわけです。私どもの旅館は、毎日新しいお客様にお泊まりいただく必要があります。そのための営業活動、誘致宣伝活動は大変です。5人の営業担当社員が全国、東南アジアを回っております。

次に、旅館の商品は在庫調整ができない職業です。旅館の客室の建築は毎年することはありません。10年、15年の間に1回、初年度に建築をするわけです。従いまして、初年度の投資計画が大変重要になってきます。一旦建築をしますと、お客様が少ないからといって客室を減らす事はできませんし、また多いからといって増やすこともできません。しかも、建築した建物を維持するために大きな固定費がかかります。したがって、当初の建築計画、どの程度の規模にするか大変判断が困難な職業です

次に将来性ですが、観光業は世界的に見て毎年発展をしております。現在はコロナによりまして大変な被害を受けております。ただ、コロナが収まりますと、お客様の旅行先は国内旅行だけではなく、各国の経済発展により外国旅行にシフトして参ります。お客様のマーケットは国内旅行だけではなく、東南アジア、欧米を始め広範囲となり、グローバルなマーケットになって参ります。しかも、国内旅行は人口減少に伴い当然減少して参ります。

それゆえに、インバウンド(外国人旅行客)のお客様が訪れる観光地は発展しますし、そうでない観光地は衰退をしていきます。コロナ後の旅行動向、生活スタイルがどのように変化するか、大変不透明な環境になります。しかも、若い世代の旅行離れ、また旅行先は外国の志向が多いようです。観光業の将来は希望に満ちていますが、未だ不透明な予測もございます。

私は高齢になりまして、息子に事業継承いたしま した。次の世代が素晴らしい年代になることを念願 して、私のお話を終わらせていただきます。

【寄付カード】

〈R財団委員会〉

• **葉山会長** 有村パスト会長、永尾会員、卓話ありがとうございました。尾上雑誌委員長「友紹介」 お世話になりました。

点 鐘 葉山稔洋 会長